

# 令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名【 理科 】  
発行者名 【 啓林館 】  
教科書名 【 わくわく理科 】

<b>観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</b>
(1) 単元のはじめに、学習問題につながるような写真や絵を見開きで示し、子どもの学習への興味・関心を高め、気付きや疑問から問題意識を高め、学習の動機付けができるように工夫している。 (2) 単元末の「まとめノート」において、観察、実験等の結果を整理したうえで、科学的な知識や概念を使用した説明活動を充実させ、思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫されている。 (3) 系統的な順序性を確保し、季節的な内容を考慮した単元配列になっている。 (4) 各単元の導入では、「思い出してみよう」を示し、日常生活や既習内容をふりかえることができるようにされているとともに、「学習のめあて」を示し、見通しがもちやすいように工夫されている。 (5) 問題解決の流れに沿って各段階を視覚的に分かりやすく示してあり、矢印でつないである。また、実験方法や結果を図表等を用いて比較するなど、子どもが学習に見通しをもって取り組める工夫がされている。
<b>観点2 内容や指導の充実</b>
(1) 理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、単元導入に「活動」「問題をつかもう」の段階を設定し、問題を見出す過程を具体的に示している。また、子どもの思考を促す教師の発問や、子どもが根拠をもって対話する場面を例示する工夫がされている。 (2) 巻末に「理科の見方」「理科の考え方をはたらかせよう」を示し、領域ごとに特徴的な視点で自然を捉えたことをふりかえることができるようにしているとともに、各学年で育成すべき問題解決の力を具体的な事例を基に示している。 (3) 「新しく学習した言葉」欄や巻末に「さくいん」を設け、学習した科学的な知識や概念、言葉が定着するように工夫している。また、観察・実験等の手順を図や写真等を用いて分かりやすく示されていたり、結果を表やグラフ等で整理しやすいように例示したりしている。さらに、各単元末では、「まとめノート」において自分なりに工夫し、分かりやすくまとめる習慣付けができるようになっており、「たしかめよう」で分かりやすくまとめることをとおして、「知識・技能」の定着を図る工夫がされている。 (4) 巻末に科学的に考えたことを整理し、深めることができるように「ノートのまとめ方」「伝えるときのまとめ方」等が例示されている。また、各単元末に「活用しよう」を設け、図やグラフ等から必要な情報を読み取って考察する問題を扱い、科学的な知識や概念を使用した説明活動の充実を図っており、「思考力・判断力・表現力」を育成するような工夫がされている。 (5) 単元のはじめに、子どもの活動写真や「学習のめあて」を示すなどして、子どもの興味・関心を高めるとともに、「理科の広場」や単元末の「つなげよう」では、学習内容と日常生活を関連させている。また、単元をとおし、学習のはじめと終わりに同じ問いが示されており、自分の成長を実感できるようになっているなど、「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。
<b>観点3 利便性の向上</b>
(1) 各単元とも「見つける」「調べる」「ふり返る」の学習過程で構成されており、問題解決の力が高まるよう工夫されている。 (2) 問題解決の流れを分かりやすいマークとロゴで記してあり、子どもが学習しやすい紙面となっている。 (3) 自然の素晴らしさを伝える鮮明な写真や子ども目線で撮った写真、効果的なイラスト等を随所に配置しており、子どもの学習意欲を喚起することができるよう工夫している。 (4) 末の「資料室」に、他教科との関連に関する項目や器具の使い方、ものづくりの例示等が示されており、必要に応じて確かめながら学習を進められるよう工夫されている。 (5) 紙面に QR コードが掲載されており、タブレットやスマートフォンで学習内容と関連する情報を閲覧できる。そのため、家庭での主体的な学習も期待できる。

#### 観点4 地域の教育の特色や児童の実態等

- (1) 子どもの実態という点から、施設やデジタルを活用して調べる等、興味・関心に応じて学び続けるための方法が紹介されている。
- (2) 第5学年「流れる水のはたらき」で大淀川の川の様子、第6学年「大地のつくりと変化」で青島の鬼の洗濯板、新燃岳噴火を受けての通学の様子が資料として紹介されており、子どもが興味・関心をもって学習に取り組むことができるようになっている。また、郷土を愛する心を育むのに適している。